



— 公的個人認証サービスの利用用途拡大とその影響 —



平成21年6月



日本電子認証株式会社



目次

1. 電子入札の現状
2. 民間事業者の現状と役割
3. 民間事業者への影響
4. その他

1. 電子入札の現状

1-1 電子入札システムで重要な役割を果たしている3つの要素

明確な目的

- ・公共調達の透明性確保
- ・発注者、利用者の業務効率化

電子入札コアシステム

- ・発注機関のシステム開発費の縮減
- ・入札参加企業の混乱防止

利用者へのサポート

- ・「電子証明書を利用して電子入札に参加するまで」の民間認証局によるサポート

安定的な運営が不可欠

発注者・利用者の信頼・安心

1. 電子入札の現状

1-2 利用者へのサポート

千差万別な利用者・環境

利用者

大規模企業
～
中小・個人事業主
まで

利用端末環境

大規模企業の集中管理端末
～
「何でも利用」の個人端末 まで

親身な対応

民間認証局
ヘルプデスク



2. 認証事業者の現状と役割

2-1 認証局の現状

認証局の現状

ヒト・モノ・カネ

- 1) 認証局を運用するための要員確保と教育
- 2) 認定認証局として必要な設備
 - － 堅牢なセキュリティ設備やシステム運用のための機器
- 3) 認定調査機関による厳格な調査
- 4) 利用者への普及促進
 - － 利用者への周知を図るための広報活動(無料講習会)、パンフレット作成等

厳しい競争環境



営業戦略



顧客サービス



採算性の追求

抱える課題

◎システムへの設備投資

- ・定期的なシステム更新
- ・OS等のバージョンアップに伴う、ユーザ提供ソフトウェアの改良
- ・アルゴリズム対応のための新たな投資

◎電子入札市場の成熟

- ・新たな市場開拓が必要

◎厳しい競争環境

- ・採算性の追求、顧客サービスの向上



2. 認証事業者の現状と役割

2-2 認証局が果たしている役割

認証局の役割

1)「信頼できる第3者機関」としての存在

2) 利用者へのサポート提供

- ・利用者提供プログラムの改修、提供(OSのバージョンアップ等)
- ・利用者のITスキル→千差万別のため、可能な範囲でのユーザ対応を実施
- ・システム稼働環境は千差万別 → 可能な範囲で個別に対応

3. 民間事業者への影響

3-1 諸条件が同一になると影響があると想定されるもの

= 例えば =

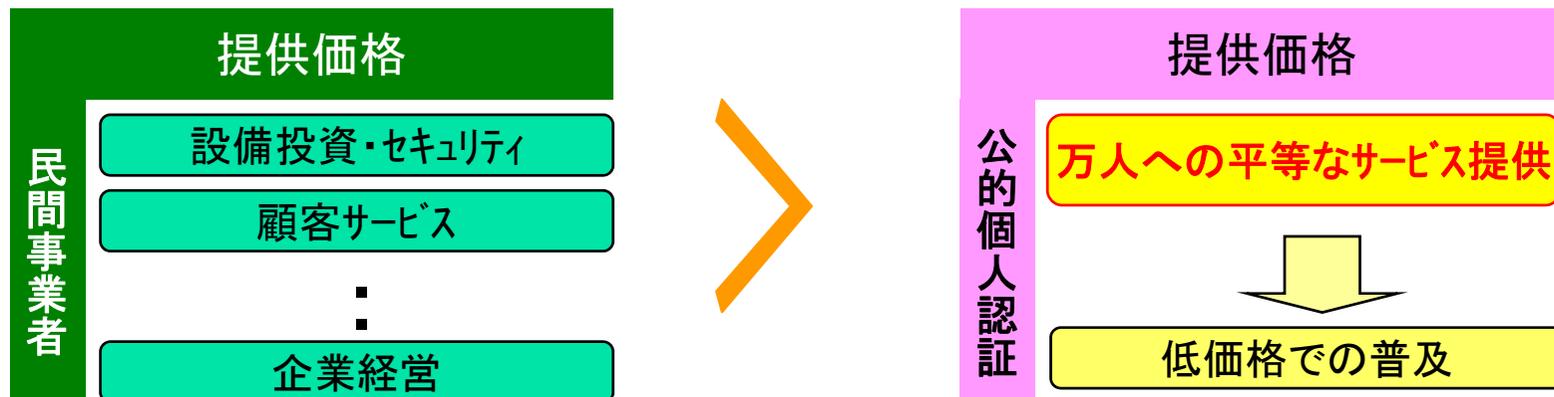
1) 同一市場での競争



2) 格納される情報



3) 価格

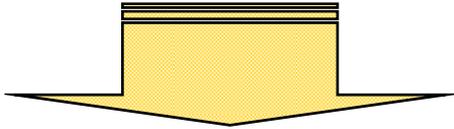




4. その他

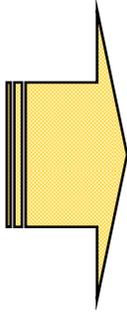
公的個人認証サービス

本来の使命？



安心して利用できる
公的な社会サービスの提供

万人へ平等にサービスを提供する
必要性



利用者

安全で安心して使えるサービス

低価格での提供

払拭する
必要性？

不安感 不信感

個人情報への漏えい
セキュリティ対策



快適に電子証明書をご利用頂くために！



ご清聴ありがとうございました